

「この本、よかったです！」(139)
『tutumu』
作：TOMOYA

(kawaru-design合同会社)

みなさんにもおすすめしたい
「くまどく本」。

今月は、くまの・みらい保育園
からです。

本田 富柚子（しろ組）

tutumuが赤ちゃんの頃の絵がかわいいです。女の子にたくさん花を届けているところがすごいと思いました。



(教育総務課
社会教育グループ)

本田 圭子（母）

主人公のtutumuは少し変な形をしていますが、全て点で描かれていることで愛しさを感じます。「自分が見て感じたことを大切にしてほしい。」というメッセージがとても素敵で子どもから大人までみんなに読んでほしいです。

体力向上に向けた取り組み

熊野第一小学校

第一小学校では、休憩時間になるとたくさんの児童がグラウンドに出て、元気に遊んでいます。

今年度は、外遊びを楽しむ児童をさらに増やすために『遊具王』という取り組みを行いました。この取り組みで児童たちは、学校にあるさまざまなおもちゃを活用して、いろいろな技に挑戦しています。

3種類の遊具（鉄棒、うんてい、のぼり棒）にそれぞれ6つのレベルの技を設定して、すべてのレベルをクリアすると『○○王』の称号とカードをゲットすることができます。子どもたちは、大休憩の時間を使って、運動委員会の児童に協力もらい、さまざまな遊具を使った技にチャレンジしていました。たくさんの児童が参加し、外遊びを推進する良いきっかけになったと考えています。

今後も運動が好きな児童を増やし、体力の向上に努めたいと思います。



▲『○○王』にチャレンジする児童たち

(教育総務課)

出動！熊野を盛り上げ隊

熊野中学校

1年生の総合的な学習の時間で『出動！熊野を盛り上げ隊』と題し、熊野を20年後も住み続けたい街にしていくためのプランを産業観光課に提案しました。プラン実行のための具体的なアドバイスをいただく良い機会となり、それとともに改善したプランを実行に移しました。

まず、NPO法人きらら会の協力のもと、深原公園にクリスマスイルミネーションのオブジェを作成しました。クリスマスツリーとプレゼントのオブジェをきらら会のみなさんと一緒に作り、年末年始に点灯していただきました。

そして、2月には東防災交流センターで世代間交流イベント「きんさいFes.」を実施しました。イベントでは、ゲームや昔遊びのブースなどを生徒主体で運営しました。

これらの取り組みを通して、生徒の「協働する力」「創造する力」「表現する力」「ふるさとを大切にする心」を育んでいます。



▲協力してクリスマスオブジェを制作する生徒たち

(教育総務課)

第54回 筆の都くまの町民文化祭 -KUMAフェス- 参加者・グループを募集します！

日常活動の発表の場として、町民文化祭に参加して、地域の人たちとのふれあいの機会にしてみませんか。

時10月18日(土)・19日(日) 所町民会館

対町内で活動している個人または団体

【部門】書・画・工芸品の展示、ステージ発表、飲食バザーなど

￥3,000円／1団体

申5月12日(月)までに申込用紙を提出

※申込用紙は、役場2階教育総務課、町民会館、各防災交流センターにあります。

※5月22日(木)の総会への参加が必須になります。

問筆の都くまの町民文化祭実行委員会(町民会館内) 国854-3111



(教育総務課社会教育グループ)

中学2年生対象 オープンスクール

熊野高等学校

この地に (346)

1月25日(土)、アートディレクションコースの2年生が企画した、中学2年生を対象としたオープンスクールを開催しました。

当日は、参加した中学2年生とその保護者で、会場となった図書室の席が満席になりました。

学校長挨拶と担当教員による授業内容の説明の後、生徒が劇仕立てで熊野高校での生活や制服、さまざまな活動について、わかりやすく説明しました。全部活動と生徒会の協力で作成した活動紹介動画も披露しました。

その後は、芸術類型の各コース(音楽、美術、書道、アートディレクション)見学、校内見学、個別相談に分かれて、生徒の活動場所を見学して回ったり、詳しい説明や相談をしたりして、熊野高校の魅力を感じてもらいました。

早くから進路について考え、行動を起こしている中学2年生には、ぜひ納得のいく高校選びをしてもらいたいと思います。



▲生徒による劇での学校説明の様子

問熊野高等学校 国854-4155



人権とわたし

「ちいともやもやジェンダー川柳コンテスト」受賞作品を紹介！(Part.6)

性別に関する固定概念(ジェンダーバイアス)の解消に向けた県主催の取り組みとして、エソール広島と連携して昨年度開催された「ちいともやもやジェンダー川柳コンテスト」の受賞作品を紹介します。



知らんがな
あんたの飯なぞ

【作者のコメント】

風邪をひき、発熱。どうにか子どもたちにカップ麺を食べさせていると、帰宅した夫が心配そうに「ママ大丈夫？パパのご飯はある？」と一言。

(40代・女性)



◀エソール広島ホームページ

出典：もやもや解消読本

(広島県環境県民局わたしたちの生き方応援課発行)
(生活環境課)